

卒業生をはじめ全国の皆様の善意に感謝申し上げます

平成28年5月17日

熊本市立千原台高等学校長 前田 清孝

まずは熊本地震においてお亡くなりになられた方々とそのご遺族に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様方に心からお見舞いを申し上げます。

さて、千原台高校は指定避難所として震災直後から多い時で600人以上の地域住民の皆様が避難されていました。本校の体育館や駐車場に停めた車中で不安な夜を過ごされた地域の皆様は、水、食料、生活に必要な日用品等が不足して、たいへん困っておられました。そのような状況の中で、卒業生をはじめ全国各地から多数の皆様方が本校に駆けつけ、あるいは郵送等によって水や食料、様々な生活用品等の支援物資を届けてくださいました。また、炊き出しボランティアやマッサージのボランティアなど物資以外の面でも多くのご支援がありました。他にもお見舞いや励ましのお手紙、お電話等も多数頂きました。

今回は未曾有の災害であり、あまりにも困難な状況でしたので、皆様の善意がどれほど多くの人々の心の支えとなったことか、計り知れません。校長としてご支援頂いた皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

現在も余震が継続しており、安心できる生活が戻っておりませんが、皆様のご厚情を忘れず、互いに助け合い、支え合っていきたいと思っております。どうか今後とも本校の教育活動にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

